主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　7

命を与える霊としての復活したキリストは、ダビデに示された神の確かなあわれみであり、ダビデのかぎを持つ方であって、神の宝庫の戸を開き、神の家また神の王国としての召会を建造する

聖書：サムエル下 7:12-14 前半．イザヤ 55:1-11．使徒 13:33-35．啓 3:7-8

Ⅰ．ダビデの子孫が神の御子となって、神の家また神の王国としての召会を建造することは、神の永遠のエコノミーの総合計です――サムエル下 7:12-14 前半：

Ａ．人性におけるダビデの主、ダビデの根は、受肉して人性におけるダビデの子、ダビデの子孫となり、最後のアダムとなりました。そして最後のアダム、ダビデの子は、復活させられて神の長子、命を与える霊、変貌したダビデの子孫となり、わたしたちの中に分け与えられて、わたしたちを神の多くの子たちとしました――マタイ 22:41-46．啓 22:16．ヨハネ 1:14．Ⅰコリント 15:45 後半．ヨハネ 12:24．ローマ 8:28-29．使徒 13:33。

Ｂ．命を与える霊は、わたしたちの中のさらに大いなるソロモンとしての復活したキリストであり、このさらに大いなるソロモンは、神の永遠の契約の実際としてダビデに示された神の確かなあわれみであって、神の家また神の王国としての召会を建造するためです――マタイ 12:42．サムエル下 7:12-14 前半．使徒 13:33-34．イザヤ 55:3．42:6。

Ｃ．ダビデの主はダビデの子となって、神の法理的な贖いを完成しました。ダビデの子（ダビデの子孫）は、命を与える霊としての神の長子となって、神の有機的な救いを遂行しました：

１．ダビデの主は受肉してダビデの子となり、彼の死を通してわたしたちを神に和解させました。ダビデの子は復活させられて、命を与える霊としての神の長子となり、わたしたちを彼の命の中で救いました――ローマ 5:10。

２．わたしたちは彼の命の中で救われ、神の表現のために神化されつつあり、命の中で支配して、神の統治のために勝利を得つつあります―― 10, 17 節。

３．そのような有機的な救いはからだの中にあり、諸地方召会の中でからだを建造して、新エルサレムを究極的に完成します。新エルサレムは命の都であり、神が人と成ったのは人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということの神の究極的な完成です――創 1:26．啓 21:2。

Ⅱ．ダビデの子孫としてのキリストは、彼の復活を通して生まれて神の長子となり、またダビデに示された神の確かなあわれみとしての命を与える霊と成りました――使徒 13:33-35．イザヤ 55:3-4：

Ａ．使徒第 13 章 34 節でパウロは、イザヤ第 55 章 3 節の神の確かなあわれみ（ヘブル語「ケセド」）を、「ダビデのあの聖なるもの、信実なもの」と解釈し、使徒第 13 章 33 節と 35 節で彼は、これらの事が神の長子としての、また聖なる方としての復

活したキリストご自身であることを示しています。

B．これはまたイザヤ第 55 章 4 節によって確証されます。その節は、確かなあわれみが民に対する証し、指導者、命令を与える方としてのキリストご自身であることを啓示しています。

C．ダビデの子孫としての復活したキリストは（ローマ 1:3-4）、彼の子孫マリア、キリストの母（マタイ 1:16）を通してダビデに示された神の確かなあわれみであり、ご自身を彼のすべての信者たちの中に分与するためです（Ⅰコリント 15:45 後半）。

D．彼はあわれみと祝福、「あの聖なるもの、信実なもの」であり、神がわたしたちに大いなる賜物、永遠の契約として、彼の計り知れない豊富を伴って与えたものであり、わたしたちのすべてを含む恵みとなります――イザヤ 42:6．Ⅰコリント 1:9．参照、使徒 13:43。

Ⅲ．ダビデの子孫としてのキリストは、復活の中で命を与える霊としての神の長子となるとき、神の確かなあわれみ、神の永遠の契約となります。わたしたちは「金のない」者ですが、主に来て彼から「買い」、彼であるすべてを享受することができます――イザヤ 55:1：

A．これは、主を享受するための代価が、わたしたちが持っているものではなく、わたしたちであることを見せています。わたしたちは自分自身を主にささげなければなりません―― 3 節．啓 3:18-20。

B．わたしたちはあらゆる面で破産しており、無であり、何も持っておらず、何もできず、無よりも悪いことを認識するとき、神の満ちあふれる慈愛と赦しのためにわたしたちの神に戻り、自分自身を彼にささげ、彼を追い求め彼を呼び求めます。それは生ける水、新しいぶどう酒、霊の乳としての彼を飲み、わたしたちの霊のパンとしての彼を食べ、天の雨また雪としての彼の言葉を享受するためです――イザヤ 55:1-11。

C．詩第 51 篇 1 節でダビデは祈りました、「神よ、あなたの慈愛（ヘブル語、「ケセド」）によって、わたしに恵み深くあり、あなたの大いなるあわれみによって、わたしの違犯をぬぐい去ってください」―― 2, 6-12, 17-18 節．参照、59:16-17：

1．神の確かなあわれみとしてのキリストを享受することは、罪と咎のための血の泉としての、また神化ときよめのための生ける水の泉としての彼を享受することです――ゼカリヤ 13:1．イザヤ 55:1, 7．エレミヤ 2:13。

2．わたしたちは、全焼のささげ物の祭壇で予表される十字架につけられたキリスト（真のダビデ）、わたしたちの避け所である絶対的なキリストの中に隠れることができ、復活し昇天したキリスト（さらに大いなるソロモン）、香壇で予表されるわたしたちのホームとしての祈るキリストである彼の中に安息することができます。それは神のエコノミーの権益のためであり、わたしたちを至聖所の中にもたらして、聖なる都とならせます――詩 84:3．43:4 前半．雅 2:8-9, 14．列王上 8:48．啓 21:2。

Ⅳ．神の永遠の契約、彼の新契約は、「その霊」、すべてを含む霊、複合の霊、神の確かなあわれみとしての復活したキリストであり、わたしたちが神の建造のためにキリストを生き、大きく表現するためです――イザヤ 42:6．Ⅱコリント 3:6，8．ヨハネ

7:37-39．ピリピ 1:19-21 前半．出 30:23-25．ヘブル 8:8-12：

Ａ．わたしたちの霊は、新契約のすべての遺贈の「銀行口座」です。命の霊の法則によって、これらの遺贈はすべてわたしたちの中に分与され、わたしたちにとって真のものとされます――ローマ 8:2, 10, 6, 11, 16．ヘブル 8:10．ヨハネ 16:13：

１．わたしたちは霊の中で神の臨在、神の語りかけ、神と会うこと、神聖な命の法則としての活動を通しての神の分与を持ち、それはご自身をわたしたちの内側のすべての部分に分け与えます――ヘブル 8:10。

２．主は彼の契約を、彼を畏れる者たちに知らせ、彼の契約の計り知れない実際としてのご自身を、彼を愛する者たちに分与します――詩 25:14．イザヤ 11:2-3 前半．Ⅰコリント 2:9．出 21:1-6。

３．新契約としてのキリストはわたしたちの分、救いの杯、祝福の杯です。わたしたちは彼の尊い御名を呼び求めることによって、わたしたちの救いまた祝福としての彼を飲むことができます――ルカ 22:20．詩 16:5．23:5．116:13．Ⅰコリント 10:16 前半。

４．イザヤ第 55 章 1 節の「水（複数）」は、永遠の契約、またダビデに示された確かなあわれみとしての命を与える霊です。「水（複数）」は、神がただ一つの面だけでなく、わたしたちが彼を継続的に飲むことを通して、多くの面で享受されることができることを啓示します――Ⅰコリント 12:13．ヨハネ 7:38．エレミヤ 2:13。

Ｂ．詩第 104 篇 15 節は、神の確かなあわれみとしての復活したキリストを記述しています。わたしたちを抑制する彼の比類のない愛は、わたしたちを元気づけるぶどう酒であり（雅 1:2．Ⅱコリント 5:14）、わたしたちを満たす彼の浸透する霊は、わたしたちの燃料であって、わたしたちを光をもって輝かせ（エペソ 5:18．出 27:20．参照、マタイ 25:8-9）、わたしたちが食べる彼の天のパンは、支える供給であって、わたしたちが地上で天の生活をすることができるようにします（ヨハネ 6:57-58）。

Ⅴ．神の家における執事としてのキリストは、その肩の上に神の家（神の王国を建造するためのダビデの家で予表される）の（宝庫の）かぎが置かれている方です――イザヤ 22:15, 21-22．啓 3:7．参照、ルカ 11:52．マラキ 2:7-8：

Ａ．神は王の家の執事であるセブナを解雇し（イザヤ 22:15-19）、彼をキリストの予表であるエリアキムに置き換えました（20-24 節．啓 3:7）。これは、神が十字架上ですべての者を排除し、すべての者をキリストで置き換えつつあることを啓示します：

１．神はわたしたちを創造したとき、わたしたちを雇いました。彼はわたしたちをキリストと共に十字架につけ、釘づけたとき、わたしたちを解雇しました――ガラテヤ 2:20。

２．一方で、わたしたちは解雇され、もう一方で、わたしたちは放出されたのではありません。なぜならキリストが来てわたしたちの中で、わたしたちと共に、わたしたちによって、わたしたちを通して生きるからです―― 20 節。

３．キリストでないものは何であれ、あるいはだれであれ、神は解雇します。神は彼の旧約エコノミーにおけるすべての者を、キリストで置き換えました――マルコ 1:1-8．マタイ 17:3-5．コロサイ 2:16-17．ヘブル 10:5-10．11:5-6。

４．真の召会生活は、すべての聖徒が解雇されてキリストで置き換えられ、キリストを召会の中ですべてとする生活です――コロサイ 3:10-11。

Ｂ．キリストはダビデのかぎ、王国のかぎを持つ方であり、開き閉じる権威を持っています。主は彼の行動のために、回復された召会に、だれも閉じることができない開かれた門を与えました――啓 3:7-8．マタイ 24:14：

１．キリストはかぎを持っており、神の宝庫の門を管理します。神の宝庫には、わたしたちの享受のためのキリストにある神の豊富があります。わたしたちは、彼がこれらの豊富をわたしたちに開くことと閉じることを経験しました――エペソ 4:30．Ｉテサロニケ 5:17．Ｉヨハネ 1:7, 9．参照、エゼキエル 1:22．申 28:23。

２．宝としての彼の豊富を享受するために、わたしたちは主との接触を続け、命の感覚にしたがって主との接触の中にとどまり、霊の中で貧しくなり心が純粋になる必要があります――Ⅱコリント 2:10．ローマ 8:6．10:12-13．コロサイ 3:16．マタイ 5:3, 8。

３．ダビデのかぎは門を開いて、わたしたちが造り変えられて白い石となり、建造されて神の家となり、柱として神の御名、新エルサレムの名、主の新しい御名を持つようにします――啓 2:17．3:12。

４．わたしたちが神の中へと建造されて新エルサレムの構成要素となり、新しいキリストの一部となることは、人から言えば不可能ですが、わたしたちの内側にある命の霊の法則は、不可能を対処する要素を含んでいます――ローマ 8:2．啓 3:7-13．参照、創 28:12-19．ヨハネ 1:51。

Ｃ．宝としての彼の豊富を享受するために、わたしたちは自己を否み、十字架を取り、魂の命を失うというかぎを行使することを学ぶ必要があります。わたしたちはみな「セブナ」であり、キリストによって取り除かれ置き換えられるべきです。それは彼がわたしたちの中で、わたしたちにとってすべてとなり、わたしたちを通して、わたしたちのためにすべてのことを行なうためです――イザヤ 22:15-19．マタイ 16:24-25。

©2006 Living Stream Ministry